

## 普及活動情勢報告（平成 23 年 11 月分）

安芸農業振興センター 農業改良普及課

### 情勢報告

#### 農村女性リーダー全員会を開催



全員会の様子

11月2日奈半利町で女性リーダーの全員会を開催した。当日は8人が集まり、しばらく会への参加がないリーダーのピーマン圃場で現地研修を行った。その後会場を移し、来年2月に高知市で実施する若い世代の一般消費者への料理講習会と出前授業について検討した。このイベントについては協議を続け、企画書をつくりあげてきた。この日の会で最終的に料理5品の講習と環境保全型農業のPRなどをする事になった。

振興センターでは、毎年行う「つどい」に代わるものとして協力企業とのつなぎをしながら、今後も支援していく。

#### 奈半利町産イチジクの加工試作品の検証



イチジク加工品の試作（11/7）

奈半利町はイチジクを特産果樹として位置付けて振興を図っており、近隣の直販所等で青果販売が定着している。青果以外では、規格外の果実をジャムに加工して販売しているが、新たな加工品開発を目的に振興センターではJA、町と品目の検討や試作を行ってきた。今回、絞り込んだ品目（大福、ゼリー、コンポート）について、奈半利なんでも市加工グループの代表者と一緒に試作して、加工する場合の問題点の抽出や商品性を評価した。今後、商品化の実現に取組み、既存商品（ジャム）とのセット販売など検討していく。

#### 田野町大野集落での集落営農推進委員会開催



推進委員会の様子

田野町大野集落では、農家の高齢化や兼業化、機械の老朽化が進む現状を踏まえ、集落営農組織（作業受託）の設立に向けた検討を行っており、11月12日に第2回目の集落営農推進委員会（農家代表5名、役場、振興センター）を開催した。

当日は10月に実施した集落アンケート調査の結果について議論し、今後、集落営農組織として取り組む内容について検討した。

振興センターでは、組織設立に向けた規約案の検討や共同利用機械の購入に向けた補助事業の導入について、関係機関とともに支援をしていく。

## 果樹試験場で果樹部のカンキツ新品種研修



試験圃場にて説明を受ける

11月15日、JA土佐あき果樹部開発部会17名が果樹試験場でカンキツ新品種についての視察研修を行った。近年、ポンカンなど既存の種類、品種の需給が頭打ちで部会員の危機感から新品種導入など研修熱が高まり振興センターが音頭をとってこの視察研修が実現した。

研究員より、近年品種登録された品種の特徴や試験データなどの説明を受け、次に試験圃場を視察した。当部会で試作している‘はれひめ’は皆の関心が高く、樹姿を観察しながら、果実を試食して食味を確かめた。部会員からは「いろんな品種を見られ、試食もできて参考になった。」「いくつか試作してみたい品種ができた。」といった前向きな感想が聞かれた。今後も果樹経営の安定を図るため、新品種の導入について、関係機関と連携して生産者への情報提供を行っていく。